

2023 年度 小委員会活動成果報告

(2024 年 2 月 5 日作成)

| | | | |
|------------------------------|--|---------------------------------|--------------------------------|
| 小委員会名 | 建築基礎の限界状態設計法検討小委員会 | | 主 査 名：鈴木比呂子 就任年月：2023 年 4 月 |
| 所属本委員会 (所属運営委員会) | 構造委員会 (基礎構造運営委員会) | | 委員長名：五十田博 (主 査 名：田村修次) |
| 設 置 期 間 | 2023 年 4 月 ～ 2027 年 3 月 | | |
| 設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き) | <p>基礎構造における限界状態設計法をより具体化すること目的として、地盤のばらつきを考慮した耐力係数の設定のための検討を行う。</p> <p>初年度：他分野における限界状態設計法の考え方に関する資料収集、理解</p> <p>2 年度：建築基礎構造で実用化する際の課題、問題点の抽出</p> <p>3 年度：建築基礎構造で実用化する際の考え方の整理</p> <p>4 年度：成果のまとめ・技術報告集などへの投稿</p> | | |
| 委員構成 (委員名 (所属)) | 委員公募の有無：無 | | |
| | <p>主査：鈴木比呂子 (千葉工業大学)</p> <p>幹事：下村修一 (日本大学)、永井 宏 (室蘭工業大学)</p> <p>委員：小林勝巳 (フジタ)、鈴木康嗣 (防災科学技術研究所)、関口 徹 (千葉大学)、西岡英俊 (中央大学)、安 浩輝 (東京ソイルリサーチ)</p> | | |
| 設置 WG (WG 名：目的) | — | | |
| 2023 年度予算 | 410,000 円 | ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス： — | |

| 項 目 | 自己評価 |
|---|---|
| 委員会開催数 | 4 回 (年度内計画を含む) |
| 刊行物 (シンポジウム資料等は除く) | — |
| 講習会 | — |
| 催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画 | — |
| 大会研究集会 | — |
| 対外的意見表明・パブリックコメント等 | — |
| 目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係) | 地盤のばらつきの評価方法について、継続的検討を行うとともに、他分野などにおける限界状態設計法の考え方の理解に努めた (達成度：100%)。 |
| 委員会活動の問題点・課題 | <p>1. 検討に用いるためのデータの取得</p> <p>2. 限界状態設計法導入のための方向性の検討</p> |